

授業科目

学校保健

担当教員名 増田 明美	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

養護教諭の活動について、「養護概論」でその目的論や対象論を中心に学び、「学校保健」では、方法論を中心に学ぶ。養護教諭としての基礎的実践力の形成を目指して、その基礎を学ぶ。

授業の目的

1. 学校保健活動について理解すると共に、「子どもたちのセルフケア能力」を育むための健康支援活動という視点から養護教諭の役割について学ぶ。
2. 観察参加実習を通して、学校現場や教育職員に必要な資質や能力について理解し、教育職員を志す動機づけをすると共に、養護教諭に関して学んだことを活かして、養護の視点で観察を行い、学校生活を送る子どもたちを理解し、養護教諭の役割について学ぶ。

学習目標

1. 学校保健活動の概念や構成および構成要素について養護教諭の立場から説明できる。
2. 「子どものセルフケア能力」を育むための健康支援活動について考察し、自己の考えを述べることができる。
3. 養護教諭の役割について考察し、自己の考えを述べるができる。
4. 学校現場や教育職員に必要な資質や能力について理解し、教育職員を志す動機づけをすることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	授業概要と学校保健活動・養護教諭の役割	講義・グループワーク	増田 明美 他
2-4	学校保健活動・養護教諭の役割（「子どものセルフケア能力」を育む健康支援の視点から）	講義・グループワーク・演習	増田 明美 他
5-8	観察参加実習と事後指導	実習とまとめ	増田 明美 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	養護概論で使用しているテキスト					
参考書						
その他の資料						

評価方法

授業・実習態度および提出物 60%
試験(講義) 40%

履修上の留意点

教育職員であり看護専門職である擁護教諭を目指す者として、自己の言動に責任を持つこと、主体的に学習に取り組むこと、社会性を身につけること、を心がけてください。さらに、状況変化に臨機応変に対応できる柔軟性を身につけるよう心掛けてください。

オフィスアワー・連絡先

授業の初回時に提示します。